

# 「みんなで育てるみやざきっ子 ポイント5」 推進のための参考シート

本資料は、昨年度作成・配付しました、「みんなで育てるみやざきっ子ポイント5」をさらに具現化していくために、これまでの各学校でのお取組を振り返っていただくとともに、各学校・地域の実状に応じた「県民総ぐるみによる教育」のさらなる推進について、児童生徒の教育に関わる全ての職員の皆様方が考えていただくきっかけとして、また、各学校でのさらなる創意・工夫につなげていただければと考え、作成したものです。

学校は地域の核となる施設であると言われる。学校は、子供達を育成する場であることはもちろんのこと、子供達にとっても、大人にとっても「豊かな出会いの場」であり、「豊かな学びの場」であると考えます。

学校が、地域のつながりを深める拠点となることによって、互いの信頼関係が深まり、地域や企業がもつ教育的資源を生かすことができるようになります。また、子供達が多くの大人と出会い、自分達が支えられていることを実感することが、地域への愛情を育てることにつながります。さらに地域にとっても、学校を介した新たなネットワークを構築することで、地域の活性化につながっていくと考えます。

各学校におかれましては、本資料を校内研修や各種会合で御活用いただき、「県民総ぐるみによる教育の推進」のさらなる推進の一助としていただければ幸いです。

## ポイント1 みんな子供に育てたいという「目的・目標」を共有化しましょう!

目指す児童生徒像の共有化が図られるような取組を行っていますか?

学校便り・P T A新聞等広報誌や地域回覧板や掲示板を活用して、地域等への周知に努めたり、情報交換会（既存の会と兼ねて実施）の開催等、機会を見つけて共通理解を図りましょう。

活動のねらいを明確にしたり、ボランティアや外部講師の役割を明確にしたりして支援をお願いしていますか?

また、ボランティアや外部講師との打合せを効率的に進めていますか?

年間指導計画への位置付けや、実施後の評価・改善事項の確実な引継ぎ、打合せシート等の活用を図るといいですね。



## ポイント2 互いの「ニーズや課題」を理解しましょう!

学校のニーズを伝える取組を行っていますか?

学校便り・学級通信・参観日等での呼びかけや情報交換会を実施してみるといいですね。

地域・企業のニーズを把握する取組を行っていますか?

地域での行事や会合は、絶好の情報の収集の場です。またボランティアや外部講師が来校された際の聞き取りも行い、記録を蓄積していくといいですね。

教育課程を編成する際等に、当該年度に支援を受けた活動の内容や方法・教育環境を見直し（評価）、工夫・改善を行っていますか?

年間計画への位置付け（支援者・支援内容の記載）や、ボランティア・外部講師の意見の集約等、情報収集を基にした改善が必要ですね。



### ポイント3 『多様な関係者を含むネットワークづくり』を進めましょう!

地域や企業等と連携した教育活動の意義や、手順が全職員で共通理解されていますか?

ネットワークづくりを進める仕組みをつくっていますか?

学校や地域の実状に応じた、一体となるための取組や工夫がありますか?



校内研修を実施したり、手順・引継ぎ方法を明確化にし、取組を蓄積していきましょう。

人材バンク等の作成・更新をはじめ、PTA組織の中に学校支援に関する部署（ボランティア委員会、学校支援委員会、学力向上委員会等）を設置したり、地域での会合等での情報収集を図るといいですね。

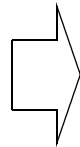
ボランティアルームやボランティアコーナー（掲示板）の設置、情報交換会の実施、地域での行事の把握・会合への参加、学校の行事への地域の方々の招待等、積極的に地域にアプローチしていくといいですね。

### ポイント4 『できる時に、できることから』を合言葉に進めましょう!

広報誌等でボランティア・外部講師に協力していただいた際の、児童生徒の様子や声、ボランティア・外部講師の感想等を紹介していますか?

学校職員が積極的に地域の活動や企画に参画していますか?

地域で実施される行事の紹介をするとともに、児童生徒や保護者が積極的に参画していますか?



学校便り・PTA新聞・公民館便り、ボランティア通信等広報誌、学校ホームページで紹介することが、新たなボランティアの発掘にもつながります。

地域での行事や会合への積極的な参加、地域の祭り・イベント・合同行事（一斉清掃等）の開催等、お互いにメリットのあるような取組を進めましょう。

子ども会や公民館活動等、地域での行事を学校便り等で案内したり紹介したりすることが、信頼関係づくりの第1歩です。さらに、地域の行事の中で、可能なものは、PTA活動と連携した位置付けにしていくことで、児童生徒や保護者の参加につながると考えます。

### ポイント5 『コーディネートの役割を果たす人材』を発掘・育成しましょう!

担当者に負担が集中しない工夫や、担当者任せにならない工夫をしていますか?

年間や月の予定(行事予定)を、できるだけ早くお知らせするようにしていますか?

地域や企業から人材・素材に関する情報収集を定期的に行っていますか?



支援カテゴリごとの担当者（例：国語科担当者・〇学年担当者等）を配置することも、コーディネートできる人材を育てることにつながります。

年間や月の計画を地域へ配布したり、学校のホームページに掲載することは、学校の姿を知っていただく上で有効な方法だと考えます。

地域での会合やPTAの会での情報発信・収集等、いろいろな場を活用しましょう。